

日本経済新聞コラム大機小機『「消費増税=景気悪化」の誤解』は一から十まで詭弁とウソ。これぞ「ザイム真理教」の典型的説法。騙されぬようお気を付け下さい。

1件のメッセージ

藤井聡・クライテリオン編集長日記 <m00178@foomii.com>

2023年8月12日 0:25

To: 3443akira@gmail.com

2023年08月12日00時22分 配信

# 日本経済新聞コラム大機小機 『「消費増税=景気悪化」の誤解』は一から十まで詭弁とウソ。 これぞ「ザイム真理教」の典型的説法。騙されぬようお気を付け下さい。

藤井聡・クライテリオン編集長日記 ～日常風景から語る政治・経済・社会・文化論～

＼この記事をシェアしよう／



8月11日の日本経済新聞のコラム、大機小機は『「消費増税=景気悪化」の誤解』という論説。読んでみたところ、凄まじいウソと詭弁に満ち満ちた内容で、タイトルにあるとおり「消費増税=景気悪化」という主張は、単なる誤解だ、というもの。

そのいいぶりが実に酷く、

「消費増税が景気を悪化させるという理屈は...目先だけ見る素人には分かりやすいが、経済全体の動きを考える現代の理論家には完全否定される」

「消費税率と経済活動に関係がない」

「『消費増税=景気悪化』という図式に根拠はない」

と、断定した上で、消費税増税で景気が悪くなる、という主張に「政治家は安易に飛びつき、それにこびる論者も現れる。その結果、景気も回復しないまま、政府財政は最悪の事態になっている。」と言い募っています。

つまり当方の様に、学者の立場で消費税増税に反対し、減税を主張する論者は、まるで「ポピュリズムの政治家に媚び、世間に害悪をまき散らすクズ学者だ」といわんばかりのいいぶりなのです。

ですが繰り返しますがこの論説、一から十までウソと詭弁なのです。以下、くわしく解説して参りましょう。

まず、この記事では最初に

「消費税による景気悪化説に根拠はない。」

と断定していますが、実際は「根拠だらけ」なのです。

第一に、消費増税で物価があがるため、経済学の最も基本的な法則である「消費の法則」故に、消費が減ります（者が高いとかう人が減る、っていう馬鹿みたいにシンプルな法則を、経済学では『需要の法則』と言うのです）。

第二に、消費増税で物価があがり、消費が減れば、投資が減ります。計量経済モデルでその効果は統計的に明らかにされています。

第三に、消費増税で物価があがれば、実質消費、実質GDP、実質投資が軒並み下がります。これはもうそれだけで、大ダメージ、となります。実質～というのは、実際に何個のパンが買えるか、というような話しですので、実質～が下がるということは、国民の貧困化を意味します。この話しは「実質～」の定義から自明なのです。

第四に、これは経済理論ではあまり言われていませんが、実証データに基づくと、「消費増税をすると、消費の増加率が低減する」ことも知られています。

<http://trans.kuciv.kyoto-u.ac.jp/tba/wp-content/uploads/2015/01/%E3%82%B9%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%896.jpg>

次に、この記事が「根拠が無い」という証拠としてあげている話しが全て出鱈目のウソばかり、です。

まず、「需要不足を考えない公共経済学」に基づくと消費税増税に景気が悪くなるということは言えない、ということが論証されているかのように論じています。が、これが完全にナンセンスな議論であり、単なる詭弁です。

そもそも現在は需要不足の状況なので、「需要不足を考えない公共経済学」は、今の経済政策を考える上で何の役にも立たないのです。

例えば「女性にモテないってことを考えない女性攻略マニュアル」は、女性にもてない男には何の役にも立ちません。

そして、その上で、「もともと消費不足の状況なら、生産能力の低下は景気に影響を与えない。」と論じているのですが、消費増税が問題なのは、生産能力が低下することではなく、消費そのものが減少することなのに、それについて一切触れていないのです。それについて全く触れずに「景気に影響を与えない」という言葉を最後に書き、まるで、消費増税が景気に影響を与えないかのような印象操作をしているのです。

次に、

「動学マクロ理論が導く効果は異時点間消費配分、つまり駆け込み需要と反動減だ。それなら年間を通せば増減効果は相殺される。」

と書いていますが、これは、「あり得ない前提をおいた数理モデル」をつかった場合の話しにすぎません。

この文章は、「消費増税直前には消費が駆け込み需要で増えるが、その分、消費増税直後に減るが、長期的に見れば、消費量は変わらない」という前提でつくられたモデル分析の帰結を言っているのですが、その前提そのものが現実的にあり得ないのです。

事実、こちらのグラフに示されているように...

<http://trans.kuciv.kyoto-u.ac.jp/tba/wp-content/uploads/2015/01/%E3%82%B9%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%896.jpg>

「消費税増税さえしてなければ、順調に消費が増えてたのに、増税したから、めっちゃ減ってしまった...」というのが実態なのです。

以上の出鱈目であるにも拘わらずなんとなく専門家っぽい文章を書いた上で、

『（消費税減税は...）政府債務が膨らむ。目先だけ見る素人には分かりやすいが、経済全体の動きを考える現代の理論家には完全否定される。』

と断定しているのですが、これこそ典型的なザイム真理教の説法と言う他ない、主張です。

要するに当方などの主張は、「素人」の論理であり、「現代の理論家には完全否定」されておりと断定しているわけですが、上記のように「現代の理論」そのものが、需要不足を考えない公共経済学にせよ動学マクロ分析にせよ、完全に間違えていることは、既に上で論じたとおりです。

そして、それ以外どういう理論があるのかは、一切言及していません。しかも、実際のデータを完全に無視しています。

つまりこの著者は、ウソをついているわけです。

さらに、

『消費税は金持ちに有利、貧困層に不利という主張もあるが、確保した財源を貧困層に使えば、問題は解決する。』

という文章が続くのですが、これは（珍しく！）間違っていない主張です...が、現実の政府は、そういうことをやっていないので、消費増税が繰り返される度に格差は広がってるのが現実ですね（つまり、実質上、この文章も嘘ついているのと同じ、ですね）。

さらに、

「消費税率と経済活動に関係がないことは、各国のデータを見てもわかる。新型コロナウイルス禍前の19年時点で日本の消費税率は経済協力開発機構（OECD）36カ国（当時）中、下から4番目で、欧州諸国はほぼすべて20～25%だ。一方、日本の経済成長率は非常に低く、メキシコに次いで下から2番目だ。このように、「消費増税=景気悪化」という図式に根拠はない。」

と主張していますが、これは、「税率の高い国でも成長してるところがある！」という事実を持ち出して、だから「「消費増税=景気悪化」という図式に根拠はない。」と主張するものとなっています。が、これは、一般の方にはわかりにくいかもしれませんが、これもまた酷い詭弁なのです。

そもそも「税率の高い国でも成長してるところがある」という話と「税率を『高くする』と成長できなくなる」という話は全然別なのです。

つまり、「増税して経済に悪影響があるかどうか」を知るには、「増税した時に、その国で何が起こるのか？」を確認する必要があるのです。

それは、性転換手術をして女性になることが幸せかどうかを知るためには、性転換手術をする人のデータを集めてくる必要があるというのと同

じ。

にも関わらず、この論者は、「女性と男性を比べたら、幸福感に違いはない」というデータを持ってきて「性転換手術をして女になってもしょうがないよ、男も女も幸福の差はないんだから」と言っているのと同じです。

重要なのは、女であることが一般に幸せかどうかではなく、「その人が女になる手術をすることで幸せが得られるかどうか」なのです。

そして...日本において増税することで、消費、投資、GDP、所得の全てが下落し、しかも、その成長率も下落した、ということがデータで明確に示されているのです。

そのデータを「無視」した上で、「税率が高くても成長してるところがある」というデータだけをもってきて「増税しても経済が悪くなる、っていうのは、全く無根拠だ」と主張しているのです。

なので、この主張は完全なウソの主張、なんです（この議論は統計学では、見かけの相関の問題と言われる典型的な間違った議論です）。

最後に、このコラムでは、次のようにまとめています。

「現実の政策決定では真偽を問わず、わかりやすい理屈が支持を得る。そのため、政治家は安易に飛びつき、それにこびる論者も現れる。その結果、景気も回復しないまま、政府財政は最悪の事態になっている。

政府はこの現実を直視し、国民に丁寧な説明を行うべきだし、国民も甘言を疑う目を持つべきだ。」

その言葉をそのままこの論者にお返ししなければなりません。

彼の主張は「増税が必要だ！」と主張し続けた国民、つまり「ザイム真理教の信者」である8000万人には、まさに、耳あたりの言い「甘言」なのです。

...ということで、こういう、日本最大手経済新聞の日経新聞がコラムを使って、我々を「素人」で「彼らは間違っている」と断定しつつ、自分たちは正しいのだ！ということ、全く正当な根拠を示さずに「断定」する、ということ、を繰り返して、ザイム真理教の信者の信仰を強化すると同時に、信者を拡大しようとしているのです。

まさに、カルト、ですねw

...ということで、こんなカルト信者が書いた文章に是非、騙されないよう、お気を付け下さい。

---

本ウェブマガジンに対するご意見、ご感想は、このメールアドレス宛てにお送りください。

---



配信記事は、マイページから閲覧、再送することができます。

マイページ : <https://foomii.com/mypage/>

---

### 【ディスクレーマー】

ウェブマガジンは法律上の著作物であり、著作権法によって保護されています。

本著作物を無断で使用する（複製、複製、転載、再販売など）は法律上禁じられています。

---

- サービスの利用方法や購読料の請求に関するお問い合わせはこちら

<https://letter.foomii.com/forms/contact/>

- よくあるご質問（ヘルプ）

<https://foomii.com/information/help>

- 配信停止はこちらから : <https://foomii.com/mypage/>
- 

＼この記事をシェアしよう／



**藤井聡**

（京都大学教授・表現者クライテリオン編集長）

京都大学大学院工学研究科都市社会工学教授、京都大学レジリエンス実践ユニット長。1968年奈良県生駒市生。

京都大学卒業後、スウェーデンイェテボリ大学心理学科客員研究員、東京工業大学教授等を経て2009年より現職。2012年から2018年まで安倍内閣内閣官房参与。専門は公共政策論。

著書「令和日本・再生計画」「消費税10%が日本経済を破壊する」「国土学」「凡庸という悪魔」「大衆社会の処方箋」等多数。日本学術振興会賞等受賞多数。朝日放送「正義のミカタ」、関西TV「報道ランナー」KBS京都「藤井聡のあるがままラジオ」等にて解説。表現者クワイテリオン編集長。

Facebook  
Prof.Satoshi.FUJII  
Twitter  
@SF\_SatoshiFujii  
ウェブサイト  
京都大学 都市社会工学専攻 藤井研究室

本ウェブマガジンに対するご意見、ご感想は、このウェブマガジン宛に返信をお願いいたします。

配信停止・配信先変更は [マイページ](#) からお願いします。

購読・課金・配信に関するお問い合わせは [お問い合わせフォーム](#) までご連絡ください。

